

授業科目名・形態	就労支援論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	山田 克宏		実務経験の有無	有	開講期	4年前期

### 【授業の主題】

就労について福祉的視点から講義します。具体的には、雇用対策法で「就労が困難な者」と位置づけられている。①身体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④刑を終えた出所者、⑤社会的事情により著しく阻害されている者への就労支援についてみていきます。働くことは、生き甲斐やQOLを支える重要な要素です。働くことを支援する意義について学びを深める。

以上により、相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度と就労支援に係る組織・団体及び専門職について理解します。特に就労支援分野との連携と就労支援における社会福祉専門職の役割について考えることが主題となる。

### 【到達目標】

- 1) 「働くこと」の意味を理解する。
- 2) 雇用・就労の動向と施策を理解する。
- 3) 障害者に対する就労支援について理解する。
- 4) 低所得者に対する就労支援について理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 働くことの意味と就労支援に係る組織・団体・専門職と社会福祉士の役割
- 第2回 雇用・就労の動向と施策(1)
- 第3回 雇用・就労の動向と施策(2)(労働に関する法律と制度)
- 第4回 障害者と就労支援(1)(障害者の雇用状況)
- 第5回 障害者と就労支援(2)
- 第6回 低所得者と就労支援(1)
- 第7回 低所得者と就労支援(2)
- 第8回 まとめ

### 【授業実施方法】

講義(アクティブラーニング, 視覚教材の活用)

### 【授業準備】

テキストを中心とした予習を行うこと(分からない語句は、調べてください)。

### 【主な関連する科目】

公的扶助論, 障害者福祉論 I・II, 高齢者福祉論 I・II

### 【教科書等】

就労支援サービス(新・社会福祉養成講座18)中央法規出版

### 【参考文献】

岩田正美：社会的排除, 有斐閣, 2008年, 拓植雅義：発達障害のある人の就労支援, 金子書房, 2015年.

### 【成績評価方法】

講義への取り組み(10%), 小レポート(20%), 定期試験(70%)

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、職能団体も社会福祉士会における後見人業務のなかで、重複障害者の支援のなかで就労支援をおこなってきた。実践で感じたクライアントが仕事をするという意味、困難性にどのようなものがあるのかなどを、事例を交え制度と関連づけた講義を行う。

### 【学生へのメッセージ】

雇用情勢とは、変化しています。最新のデータを確認していきましょう。また、労働や生活保護法を含め法制度に関して、ファミリーソーシャルワーク視点から広い視野で学びを深めていきましょう。